



2011/8/26

カーフリーデージャパン

ヨーロッパモビリティウィーク & カーフリーデー2011

“クルマをおいて街に出よう！” 全国都市で開催！



毎年、ヨーロッパを中心に世界中で、9月16～22日の1週間、「ヨーロッパモビリティウィーク」という社会的なイベントが行われています。これは、クルマに過度に依存しない環境や人にやさしいまちづくりを目指し、環境問題を都市交通の面から対処していくため、また、街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。中でも、期間中に行う「カーフリーデー」は、このプロジェクトの中心イベントで、都心部において1日マイカーを使わない地区を創り出し、市民一人一人が、車のない都市環境を体験し、その変化を実感し考える機会を提供しようというものです。街本来の在り方を社会啓発し、クルマ優先社会からの価値観の転換にむけた取組みです。

毎年、世界各地で約2,000都市以上が参加しており、アジアでは、台湾台北市、韓国ソウル市が本格的に行っています。日本では、2004年から数都市が参加し、昨年2010年では全国9都市（仙台市、春日部市、さいたま市、横浜市、逗子市、松本市、福井市、高松市、那覇市）で実施されました。

今年は、**全国8都市**(8/26現在)がヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーに参加します。※

今年のテーマ「Alternative Mobility クルマから違う乗り物へ」のもと、環境にやさしい新しい交通まちづくりを目指して、それぞれ独自の取組みを展開いたします。

昨年の様子・・・左上から仙台市、さいたま市、横浜市、福井市（2011年ベストショット賞より）



これに関連して、カーフリーデージャパンでは、環境・交通・まちづくり一般の市民団体と、環境や人にやさしい交通まちづくりの実現を模索する「環境や人にやさしい交通まちづくりを目指す市民団体のためのカーフリーデーワークショップ&セミナー」（後援 国土交通省(予定)、環境省等）を開催します。ヨーロッパモビリティウィーク運営主幹委員をフランスから、また、ベトナムやモンゴルの市民団体も招聘し、アジア全体として交通まちづくりにおける市民団体の役割についても考えます。一般公開セミナーは10月15日14:00-17:00 於:四ツ谷 主婦会館で開催します。

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2011 参加都市

※2011/8/26 時点の申込です。

参加都市	主催者	取組内容（主にカーフリーデー）
仙台市	仙台市 http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/press/10-08-10/mwcf2.html	9/16-9/22 仙台市役所1階と地下鉄仙台駅コンコースでパネル展示。 9/19 宮城バスまつりでの公共交通利用啓発。
さいたま市	さいたまカーフリーデー実行委員会 http://www.city.saitama.jp/index.html	カーフリーデー 9月17,18日 大宮駅西口 鐘塚公園、周辺道路
横浜市	横浜カーフリーデー実行委員会 http://ycfd.jp/	カーフリーデー 9月23日 日本大通り+横浜公園等
逗子市	歩行者と自転車のまちを考える会	カーフリーデー 9月19日(予定) 逗子駅前(予定)
松本市	松本市ノーマイカーデー推進市民会議 http://www.city.matsumoto.nagano.jp/	カーフリーデー 9月23日 大名町通り+周辺道路、松本城
福井市	カーフリーデーふくい実行委員会 http://cfd-fukui.roba.iinaa.net/	カーフリーデー 9月17日 田原町駅付近
高松市	カーフリーデー高松推進協議会 http://www.city.takamatsu.kagawa.jp	カーフリーデー 9月19日 菊池寛通り+美術館通り
那覇市	なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会 http://www.city.naha.okinawa.jp/tokei/koutsuseisaku/indx.html	カーフリーデー 9月23,24日 さいおんスクエア+国際通り

詳しくは各参加団体へお問い合わせください。

●ヨーロッパモビリティウィーク・・・European Mobility Week (EMW) <http://www.mobilityweek.eu/>

カーフリーデーから始まった、この催しは、2002年からヨーロッパモビリティウィーク（9/16-9/22）として、一週間に拡大され、様々なテーマが設定され実施されています。欧州委員会（環境総局）のプロジェクトで、各都市で環境にやさしい都市交通政策の中心となる催しとなっています。

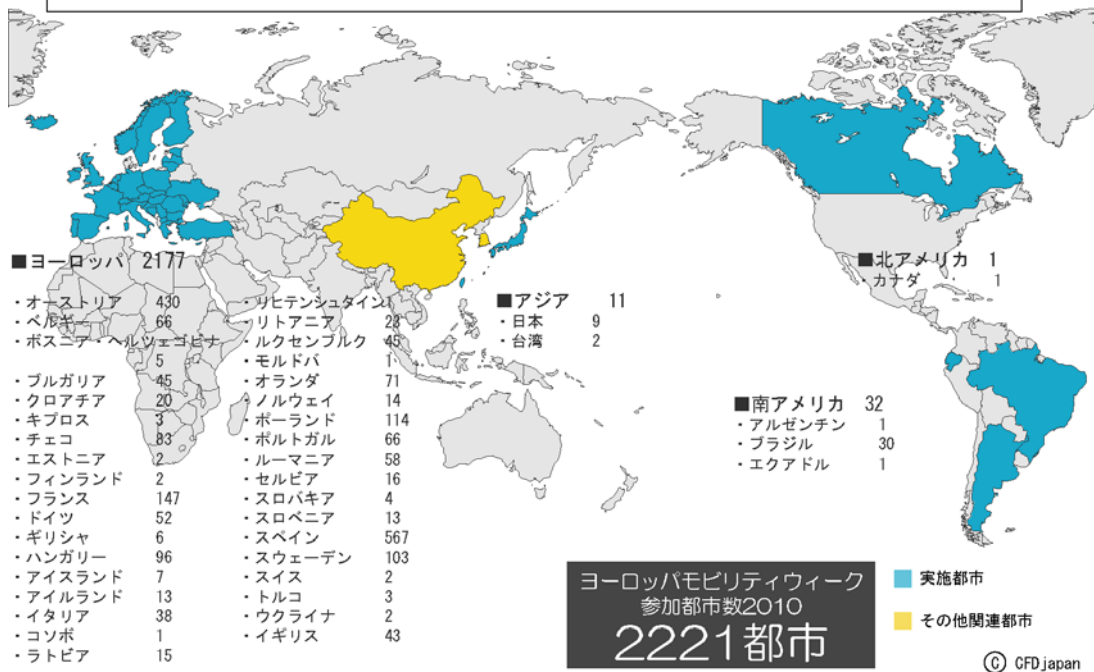
この取組みはクルマ優先社会の問題を見直し、クルマの賢い使い方を考え、交通行動の変化を市民へ促す「社会啓発」と、公共交通の充実を目指し、行政の「新しい交通政策の開始」の機会という役割をもっています。

○カーフリーデー・・・Car Free Day (ITVMC)

カーフリーデー（22日）では、このモビリティウィークの中心的イベントですが、一日、街の中心部でクルマのない都市空間が創りだされ、クルマから解放された都市環境の変化を市民一人一人が体験し、考えることを促すことを目的としています。その日は、公共交通が無料になったり、バスが増便されたりなど公共交通の充実が同時にはかれ、街ではクルマに頼らなくても日常生活には支障がないことを市民一人一人が実感する機会となっています。

日本では、特別に、車の交通規制を伴わなくても、啓発活動だけでも参加することができ、また市民団体の主催の催しとしても参加できます。

ヨーロッパモビリティウィークへの参加都市分布図（2010年）



フランス ラ・ロッシェル(カーフリーデー発祥地) のカーフリーデーの様子 (2006年)



※「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」は商標登録です。

※カーフリーデー・ジャパンは、ヨーロッパ欧州委員会のもと、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー運営委員会により任命された日本担当コーディネーターを代表とする任意団体で、日本でのヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの普及、広報、支援を行っております。

問い合わせ窓口
カーフリーデー・ジャパン
 Tel: 03-3234-1765 Fax: 03-3234-1748
 E-mail: carfreeday@cfdjapan.org
 Web: http://www.cfdjapan.org
 Blog: http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan